



利府町立利府西中学校 令和8年3月11日 No.21

西中だより

教育目標：ゆたかに 明るく たくましく

第25回卒業式

令和7年度の卒業式が3月7日（土）に行われました。天気が心配されたところではありましたが、暖かな日差しが降りそそぐ中、厳かな雰囲気で行うことができました。

式辞では、福田 正昭校長より、以下のようなメッセージが卒業生に贈られました。

「冬来たりなば 春遠からじ」イギリスの詩人シェリーの言葉にあるように、冬が終わり、ここ利府の里にも春が訪れようとしています。

今、卒業するにあたり、皆さんの心には、たくさんの思い出がよみがえっていることでしょう。皆さんは、様々な場面において、「ゆたかに、明るく、たくましく」の教育目標どおり、西中生として、いきいきと活動し、心身ともに大きく成長しました。

特に、三年生としてのこの一年間は、どのようなときにも叡智を集結し、最上級生らしく後輩をリードしてきました。体育祭、合唱コンクール、育樹祭と、行事の成功に向け汗を流し、手を取り合う姿、輝く笑顔が目に見えています。その雄姿は、一、二年生にとって、あこがれであり、目指す道しるべとなりました。これからは、後輩が、皆さんの思いを引き継ぎ、利府西中学校を、更によりよい学校に作り上げていってくれることでしょう。

さて、今年の初めに、夢見る力についてお話ししました。一人の夢が、たくさんの人々の心を動かし、社会を変える力があるのだと。今日は、その夢を叶えるためにどうすればよいのか、そのヒントとなる、ウォルト・ディズニーの言葉を紹介します。ウォルト・ディズニーは、夢を叶える秘訣として、次の四つのことを合わせ持つことだと言っています。

一つ目は、「好奇心」未知のことに興味を持ち、常に新しい方法を追い求めることです。

二つ目は、「勇気」困難や危険に出会っても恐れず立ち向かい、乗り越えようとすることです。

三つ目は、「自信」夢はきっと叶うと信じ、自分の価値や能力、そして可能性を信じることです。

四つ目は、「継続」です。いい時も悪い時も動じることなく、夢叶うまで行動しつづけることです。

ウォルト・ディズニーは、この四つを全て実行し、多くのアニメーションを生み出し、世界中に夢の国をつくり、「人々を笑顔にしたい」という夢を実現したのです。大きな成功を収めたあとも、ウォルトは、「すべては、一匹のねずみからはじまった」という言葉を人々に話し、夢見ることの大切さを伝え続けました。

卒業生の皆さん、あなたがたの目の前には、大きな可能性が広がっています。このウォルト・ディズニーの四つの言葉を心に留め、これからの人生を、夢を持ち、自分の力で切り拓いて行ってほしいと思います。これからも、私たち、利府西中学校の教職員は、夢に向かって進み続けるあなた方を応援しています。

結びに、巣立ちゆく卒業生108名の前途に、幸多からんことを祈念し、式辞といたします。

(一部抜粋)

卒業生が、どのような困難にあったとしても、しなやかに、たくましく人生を歩んでいくことを期待しています。



卒業記念合唱の様子

予餞会

3月6日（金）に予餞会（3年生を送る会）が実施されました。各学年から、卒業へのはなむけとして、工夫をこらした発表が行われました。1学年からは、教員を題材にしたクイズや「あっち向いてホイ」などゲーム大会、合唱披露がありました。2学年からは、「白雪姫」をモチーフにしたパロディ演劇、合唱披露がありました。その後の「思い出のスライドショー」では卒業生の1年生から3年生までの軌跡が映し出され、場面場面で3年生から歓声が上がっていました。予餞会終了後、「同窓会入会式」も行われ、3年生にとっては、受験後の楽しいひとときとなったとともに、卒業が目前に迫っていることを実感した時間となりました。



2学年より演劇の1コマ



1学年より「クイズ」の1コマ